

# 大内かわら版 NO.18

## 大内地区の「地域の教科書」

- ① 暮らしに関することをまとめたもの  
(行事・役割、慣わしなど)
- ② 地域の魅力・特徴などをまとめたもの

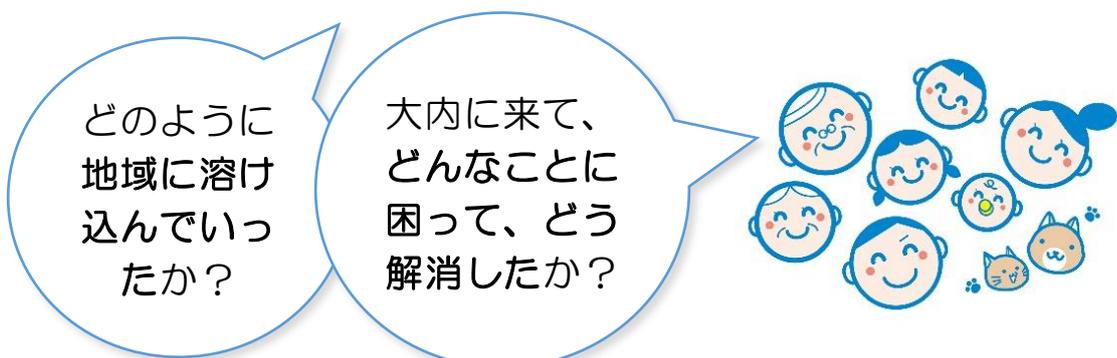
### 目的・効果

〔移住希望者〕 大内のことを知ってもらい、知ったうえで移住してもらおう。選んでもらおう。

〔大内住民皆様〕 ・地域の魅力など認識の再確認をする。  
・在住行政区以外の行事・団体などを知る。

〔出身者・若い世代〕  
地域の魅力などを情報発信し理解してもらおう。

## 第1版以降の「大内地区 地域の教科書」の進め方

年	月	主な内容	
2018年	4月	今後の「大内地区 地域の教科書」づくりについて検討&資料づくり	
	5月	外から大内地区に来た方（嫁いで来た方、移住者）、 外から大内地区に戻って来た方などを中心にお話を伺う	
	6月	 <p>どのように地域に溶け込んでいったか？</p> <p>大内に来て、どんなことに困って、どう解消したか？</p> <p>ご協力よろしくお願ひいたします！</p>	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		たたき台を作成し、情報&資料をためていく
	11月	内容の確認&修正作業	
	12月		
	2019年	1月	各区の区長・役員改選時期に合わせて、最新の情報収集
		2月	
		3月	
4月		新区長・新役員にお話しをお聞きする	
5月		「大内地区 地域の教科書」第2版 最終確認→印刷	
6月			
7月		「大内地区 地域の教科書」第2版 発行	

## 山口県山口市「学生耕作隊」の取り組み のご紹介

低い食料自給率や、増える荒廃農地を抱える日本の農業・農村の衰退という現状を打破すべく、農業に関心がある学生有志が組織を結成！

人手不足の農家に学生やシニアの派遣などを行いながら、耕作放棄地を守っています。

### 農業・農村活性化のための主な事業

#### ◆農家の人材不足の解消

人材不足に悩む農家に、隊員を有償で派遣。農家は、隊員には1時間500円程度の現金か農産物で報償を支払い、事務局には1隊員1時間200円を利用料として支払う。



- ◇年会費 3,000円
- ◇毎月援農活動やイベント情報の発信
- ◇商品価値ない「もったいない農産物」提供

結成してから8年間で、援農者10,000人派遣先農家数 約50件以上

#### ◆農地荒廃の防止

学生やシニアが、プロの農家にアドバイスを受け、耕作放棄される予定の荒れ農地を維持管理。農地と景観の保全活動を行っている。



#### ◆「もったいない農産物」の活用

捨てられていた「もったいない農産物」の商品価値を見出し、地域に還元されるよう、商品開発と流通の手助けを行っている。



たとえば・・・  
商品にならない茶葉を旅館に売り込んだり、高齢者が収穫しきれない木の上の果実を飲食店などに売り込み、メニューに活用してもらうなど、様々なマッチングに取り組んでいる。

### 地域活性化のポイント

- ◇農業に関心ある若者が、農家を元気づけ、意欲を向上させる。
- ◇平日も定期的に農作業ができ、社会経験が豊富なシニア世代、主婦などの力を借りつつ、手伝う側もやりがい・生きがい創出につながっている。
- ◇農家と援農者の交流が、地域の仕事づくりになり、また農業に対する理解促進、地元農産物への愛着につながり、地産地消を促す。

### 今後の展開

隊員と援農先のつながりを育むとともに、農業体験希望者の受入れ先を増やし、就農や農村への定住を促進していく。

維持管理している農地も、体験交流の場として活用していく。

「もったいない農産物」を活用し、農村レストランを展開しながら、地産地消を進め、地域の良さを発信していく。

農業の後継者不足、高齢化や、休耕地などの課題を解決する方法として、参考にできることがあるかもしれません！